

♪定演に向けて♪

●みんなの目標

- ・お客さんも、私たちも、みんなが笑顔になれる演奏会にしたい。
前回の演奏会よりも成長したと思える・思われる演奏をする。
(Fg.20期 秋山芹香)
- ・みんなが楽しめる演奏会！お客さんの心に残る演奏をしたい！
(Cl.20期 池田衣里)
- ・奏者もお客さんも、裏で働いてくれている人もみんなが気持ちよくなるような演奏会にしたいです。(Hr.19期 石徹白奈央)
- ・彼女をつくり、X'masはイチャイチャする。三年間の思い出を振り返りながら、締めくくりとして最高の演奏会をする。
(Fl.19期 伊豆仁)
- ・納得のできる演奏がしたい（もちろん振ってる時も）。上手い演奏だったと満足してもらいたい。(Tp.19期 岩月厚)
- ・まわりの音をしっかり聞いて、きれいな演奏がしたいです。また、苦手な部分もしっかり吹けるようにしてから演奏会に臨みたいと思います。演奏会では、お客さんに楽しんでもらえるように、楽しく演奏したいと思います。(Cl.21期 植木佳織)
- ・奏者もお客さんも裏方も楽しめる雰囲気のある演奏会にしたい。
(Euph.21期 大津瞳)
- ・聴きに来て下さる方々・演奏する自分たち・お手伝いして下さる方々、演奏会に関わる人たちの心に残る演奏会にしたい。
Do my best*° (Hr.19期 大塚衣里子)

- ・楽しんで演奏できるように頑張る！！(Hr.20期 岡田万穂)
- ・自分だけの満足じゃなくて、他の吹いている人、聞いている人、みんなで満足できるような演奏がしたい。(Ob.20期 小川智之)
- ・1音1音キレイな音色で吹く。周りの音を聴いてお客様が喜ぶ演奏をする。(Tb.21期 小野田里奈)
- ・観客の人が一人でも多く楽しんでもらえるような演奏会にしたい。
(Euph.19期 梶川祥)
- ・思い出に残る演奏会にしたい。(Tp.20期 梶川通仁)
- ・みんなの心にのこる演奏がしたいです。(Tb.21期 加藤歩美)
- ・自分たちが楽しんで演奏できて、聴いている人にもそれが伝わるような演奏会にしたい(Tb.21期 加藤早姫)
- ・演奏面で、お客さんの心を少しでも動かせるような演奏会にしたい。(Fl.19期 加藤真吾)
- ・自分が出すすべての音が曲の一部になるということを意識して、相手に聴かせるための演奏をしたいです。(Perc.21期 加藤千晴)
- ・先輩方との最後のステージを思いっきり楽しみたいです！
(Tu.20期 加藤幹子)
- ・お客さんに楽しんでもらえるように、1曲1曲、大切に吹きたいです。(Cl.20期 加納佑華)
- ・お客さんが楽しめる演奏会にする。正確な演奏をする。
(Tb.21期 久野倅香)

・細部までこだわられるだけこだわって、来て下さった方たちが楽しんでくださり、かつこちら側としても満足できる、楽しい演奏ができたと思います。(Tb.21期 小嶋俊太郎)

・笑顔で終われる演奏会 (Hr.20期 後藤光太)

・楽しみたい。拙いなりに練習をして、満足のいく演奏をしたい。風紋！！スタンドプレー… (Cl.20期 小森拓真)

・吹奏楽やってる人だけでなく、吹奏楽のことよく知らない人にも吹奏楽ってカッコイイ！音楽ってなんかいいな！って思ってもらえるような演奏がしたい。(Cl.21期 小山莉子)

・去年に引き続き、今年もロビーコールガン無視して全力で片付けがんばります！ (Hr.19期 権田亮)

・私たちとお客さんが一体となれて、来てよかったと思っていただけるような演奏会にしたい！！ (Fl.21期 酒本美乃吏)

・聴く人に感動を！By 感動係：) (Cl.19期 島田美聖)

・今回の定演のテーマにもあるように、来て下さるお客さんが元気になれるような演奏を届けられたら良いと思います。震災で大きな被害を受けた被災地の学校の吹奏楽部では、楽器や練習場所も十分ではない中でしたが、演奏で多くの人を勇気づけていました。私達は何事もなく練習できる環境に感謝し、人の心に届く演奏をしたいです。(Cl.21期 正田小夏)

・演奏している自分たちも身震いするくらいの音楽を奏でる・やってよかったと思える演奏会にする・裏方さんが気持ちよくスムーズに仕事ができるようにサポートする (Sax.19期 鈴木里依)

・このメンバーで演奏できる最後の演奏会なので、後悔をしないようにがんばりたいと思います！ (Hr.20期 瀬戸口舞)

・奏者もお客さんも楽しめる演奏会 (Sax.19期 土屋智歩)

・楽しく演奏がしたいです！！ (Fl.21期 都築晃子)

・お客さんに楽しんでいただけるような演奏会を(´・ω´)ついでに自分自身も楽しむ！ (Fl.20期 鳥居美沙)

・よりよい演奏を聴いてもらえるようにしたいです。(Cl.20期 中田咲子)

・来年に活かせる演奏会にする。(Perc.20期 中村彩香)

・満足できる演奏会 (Euph.20期 西尾基貴)

・少しでも感動する演奏ができるように、少しでも上手くなるように練習していきたいです。本番だけ上手い演奏なんてできる訳ないので、演奏会までの道のりが大事だと思うので、限られた時間の中で練習していきたいです。そのためにも体調管理しっかりしたいです苦笑 色々思うことは多いのですが、何よりわたしが大事にしたいのは19期の先輩方が安心して引退できるように、しっかり演奏したいです。なごすいの看板を背負ってるっていう意識をもっともって、最低限のノーマスを守って団に貢献していきたいです。(Sax.21期 西山実花)

・見る者、聴く者、つまり、観客が楽しめ、感動するような演奏会にしたいです。演奏者だけ満足するようでは何もならないので。(Tb.19期 野口洋睦)

- ・意志のある演奏がしたい。「楽しい」を共有できる演奏会にしたい。(Cl.19期 橋本恵利香)
- ・素晴らしい演奏会にしたい。(Tp.21期 橋本知香)
- ・何か1つでも、お客さんの印象に残るような演奏がしたいです。(Euph.21期 長谷川耕太)
- ・「お客様に楽しんでもらえる演奏会」はもちろん、自分たちも自己満足でなく「楽しむ」ことのできる演奏ができればいいなと思います！(Tb.21期 服部夏紀)
- ・後悔しない演奏会にしたい。(Cl.19期 花井美晴)
- ・今までの練習をいかして楽しく演奏する！！(Tp.21期 早川菜美)
- ・楽しく演奏する。(Tp.19期 林宏樹)
- ・お客さんに「来てよかった」と思ってもらえるような演奏会にしたいです。知らない曲だとしても感動してもらえるような演奏をしたいです！(Fl.21期 林萌花)
- ・楽しんで演奏する(いい意味で)。水無月の時より少しは成長した演奏がしたい。自分のことだけじゃなくて、いろいろなことを考えながら演奏する。周りに迷惑をかけない。(Perc.21期 萬代絢子)
- ・手を抜かず練習して、全力の力で演奏できるようにしたい。(練習をサボらない。目的意識を持つ)(Tu.21期 引地悟志)
- ・お客さんに感動してもらい、また来年も来たいと思ってもらえるような演奏がしたい。(Tu.20期 廣田有莉)
- ・タンバリンとかドラムとか…落ち着いて聴いてもらえるような演奏をしたいです。(テンポ的な意味で)(Perc.21期 細野佑介)

- ・感動できる演奏会(自分もお客さんも)。未練を残したくない。(Fl.19期 堀槇佑子)
- ・お客さん側からは、見て聴いて参加して(歌?)、始めから終わりまで楽しんでもらえる演奏会を、個人的には、奏者の皆さんが存分に力を発揮できる舞台を、目指したいです。(Tb.19期 前原めぐみ)
- ・聴いてる人が素直に楽しめる演奏。はらはらさせない演奏。(Tp.21期 村松瞳)
- ・あと1ヶ月、今自分にできない所を少しでも減らせるように1日1日の練習を今まで以上に真剣に取り組む。本番までに、皆に迷惑をかけずに演奏できるようになりたいです。(Perc.21期 山本歩美)
- ・*お客様のために*わざわざ会場に足を運んで下さるのだから、それなりの演奏をしないと申し訳ないと思います。来て良かったと思ってもらえるように。楽しい演奏会にしたいです。
*私たち団員のために*お客様のための演奏会でもありますが、私たちのための演奏会でもあると思います。自分たちが楽しむことも大事です。また、今回の演奏会は世代交代の場でもあると思います。引退する方は悔いのないように、他はこれからなごすいを支えるわけなので、次につながる演奏会にするべきです。また、引退する方を気持ちよく送り出すのが大切です。(???)

●意見・問題意識

☆演奏・合奏について

- ・当日は万全の状態です（手紙書くのに寝不足とかヤメてください）。
- ・その合わせに来ていない人に、その日変わった所など（テンポや強弱、表現など）をしっかりと伝えていき、みんなで音楽をきちんと共有したらもっといいと思います！
- ・みんな八木澤レッスンが終わったとたんまた返事をしなくなった。合奏が円滑に進むためにも、意志の疎通などはそういうところでしょうか、とあります。
- ・指揮さんが指示をしてくれたとき、本当にわかっているのかわかりづらいように思います。伝わってなければ、せっかくの合奏ももったいないので、何かしら指揮さんに伝わっていることを伝えるといいと思います。
- ・指揮者がしゃべってる間油断しすぎ。楽器を手から離してる上に、ノロノロ準備しているのが、無駄に時間がある。あと、全く関係ない話をしてる人も目立つ。
- ・指揮は見た方がいいと思います。
- ・仕方ないとは思いますが、人がまったくそろわなくて不安です…
- ・曲のイメージが統一されてない。
- ・自分が間違ってることに気付いていない。曲のリズムでも。音程でも。
- ・上手い下手ではなく、明らかに演奏を乱す吹き方をする人が数人

いる（こういう吹き方をしたらこういう音が鳴る、ということが分からないのかな…？）。技術・経験云々ではなく、もう少し頭を使って演奏してほしい。

- ・もっと一音一音大切に、集中して演奏しましょう。本番はやり直せません。練習で失敗したその一回がもし本番だったら、かなしい。
- ・バンド全体として、もう少し柔らかい音色を研究した方がいいです（特に金管）。
- ・時々力で音を飛ばそうとしている音が聞こえるので、弦楽器が響かせるような音をまとう、息のこもった音にできたらいいと思います（ザンッって感じ）。
- ・ダイナミクスについて1人1人がもっと意識すべきだと思います。
- ・とりあえずメトロノームを使って練習して下さい。特にゆっくりなところ。自分でテンポをとってきちんと拍を数えて吹いてください。指揮者はメトロノームじゃありません。
- ・もう一度楽譜をよく見直してみてください。楽譜にある一音は作曲者の意志、意図がこめられています。その意図がわかれば曲の表現は指揮者に頼らなくてもできるはず。
- ・ローテがない時に喋っている人が多いので、もっと練習するべきだと思います。
- ・楽器の上手い人がどんどんアドバイスしてあげると、全体のレベルアップにつながって良いと思います。
- ・中音が弱い→音だしの段階で、音量、息のスピード、息圧などが弱い

- ・金管の一部の爆発音が気になるので、なんとかして下さい。
- ・Tb、もっと音を飛ばす意識が必要だと思います。
- ・Tpさんもっとていねいに吹いてください。雑です。合わせられません。
- ・Clのピッチ、もっとTpと歩みよりたい。
- ・風紋…入り、もっとたっぷり息を吸って。冒頭、停滞感がある。溜めたら溜めたテンポのまま、でなく、その分進まないと音楽が停まってしまう気がする。また、ゆったりした部分はちゃんと8分を感じながら演奏しないと、これも停滞の原因になるような。あとは、全体的に刻みのシンクペーション感が見えない(特にゆっくりの所)。
- ・基礎合奏はやっている意味(効果)があるのでしょうか…→やっている目的は？何をどう改善しようとしてるのか？
- ・ホール練(豊講練も含む)のやり方が下手→せっかくホールで演奏できるのに、いつも通りの練習方法しかやらないようではやる意味無い。もったいない。いつもはせまい部屋で演奏しているけど、ホールという特別な環境でできるので、それを活かすべきです。客席から聴いて、音がどこまで届いているとか、バランスはどうかとか、響きはどうかとかを聴いてみるべきです。いつも演奏者側には気付かないことがいっぱいあります。たまには客席側で自分たちの演奏を聴いてみるべきです。
- ・氷河のテンポを安定させてほしい！
- ・合奏の効率を上げてほしい(特に副指揮者…)
- ・ベースラインの指導を増やしてほしい。

☆活動全般・運営について

- ・準備が遅い人がいる。
- ・譜面台の片づけが雑。
- ・他団体の部屋の前に楽器ケース置く人がいるけど良いの？
- ・Perc 運搬の手伝い(特に2便)や、合奏部屋のいすの準備、片付けなど、細かいところから皆でもっと積極的に手伝い合えたらいいと思います。
- ・Tbパートより、他人のことは全然言う立場ではないですが、何だかいつもの練習の時間を守ることにについて何だかきちんと守れてないように思えます。自分もそうなので、情けない限りです。
- ・サークルに対する姿勢の個人差、温度差
- ・20期の出席率の悪さ、最高学年になる自覚の無さ(一部かもしれないけど)
- ・演出、しきるひとが優柔不断過ぎる。間に合う気がしない。
- ・問題が起こった時、なんでもかんでもみんなで話し合えばいいって思ってる節がある気がする。そもそも話し合いは、人数が多ければ多いほどまとまりにくくなるので下手なことすると本当に時間の無駄にしかならない。責任者がある程度自分の意見をまとめて「こう考えてるんだけど、どう？」って聞く方が効率良いと思う。

定演まであと一ヶ月。一人一人が自分の気持ちとみんなの気持ちを尊重して、一日一日を大切にしていってほしいです。

最後になりましたが、皆様ご協力ありがとうございました！